

神奈川県

神奈川県史

資料編

11

近代・現代

(1)

政治・行政
1

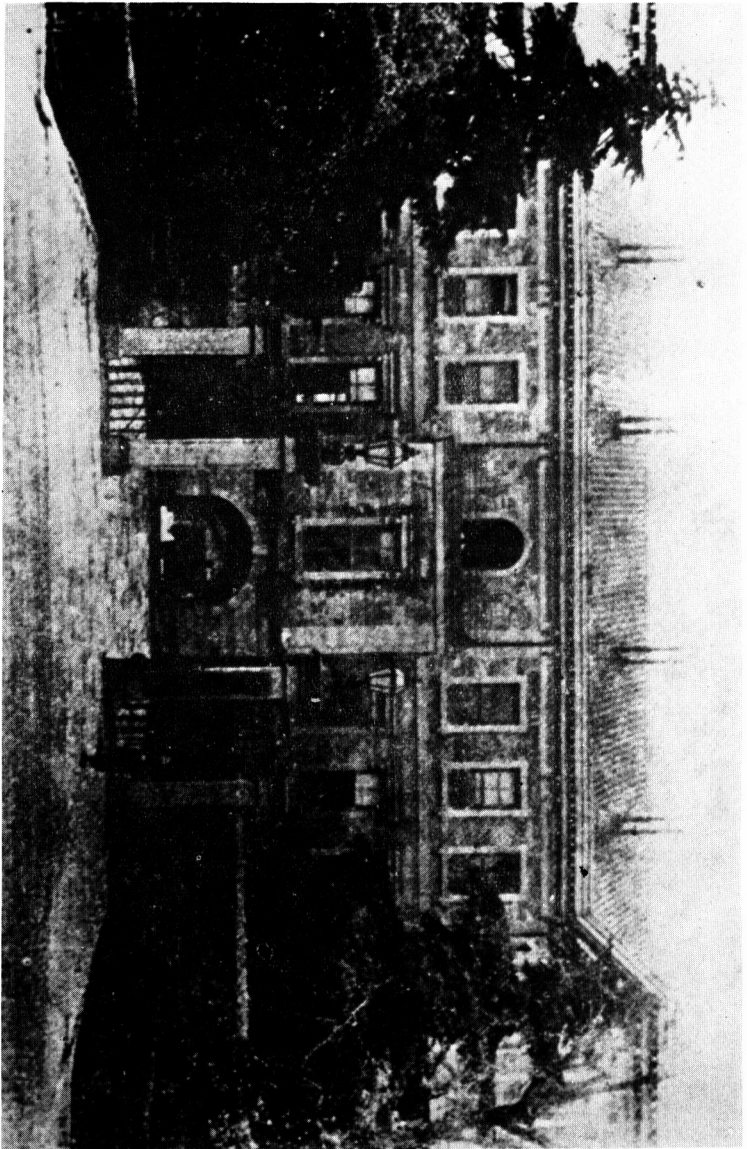
明治九年四月十八日に足柄原は廢止され相模國は神奈川県に伊豆國は静岡県に分属することになった。これは韮山に戻る元県令柏木忠俊を指して小田原の小学生が差出した作文の一つである（資料八本文一八〇―一参照）

叢^三廢^一清^一置^一縣^一之際^一、^一故^一曰^一名^一久^一保^一氏^一長^一氣^一節^一
 歸^一之^一ト^一ル^一當^一ニ^一歲^一時^一ニ^一知^一リ^一ト^一氣^一モ^一哀^一情^一離^一別^一ノ^一地^一
 へ^一ル^一所^一リ^一況^一ニ^一毎^一白^一大^一人^一五^一年^一者^一過^一蒙^一ニ^一皆^一於^一
 三^一中^一知^一ル^一可^一キ^一リ^一一^一語^一懷^一數^一恰^一モ^一孝^一子^一慈^一母^一ヲ^一喪^一子^一
 知^一、^一行^一惶^一慘^一悲^一意^一樂^一ニ^一然^一ル^一ニ^一作^一閣^一下^一來^一ニ^一新^一
 縣^一ノ^一治^一ニ^一及^一ニ^一前^一懷^一數^一漸^一ノ^一變^一ニ^一再^一ニ^一慈^一母^一ヲ^一蘇^一
 ル^一カ^一、^一歡^一喜^一踴^一躍^一歡^一雨^一、^一始^一ニ^一齊^一不^一變^一ス^一ル^一良^一
 コ^一ノ^一為^一ニ^一シ^一テ^一且^一ニ^一閣^一下^一ニ^一下^一ヲ^一柳^一ニ^一仁^一恕^一報^一ヲ^一待^一ス^一禮^一
 儀^一是^一以^一テ^一數^一年^一來^一風^一俗^一正^一歸^一一^一縣^一大^一開^一明^一ニ^一
 繼^一ノ^一如^一斯^一ノ^一所^一以^一者^一、^一皆^一閣^一下^一賜^一リ^一賜^一呼^一閣^一下^一
 今^一此^一縣^一ヲ^一去^一ニ^一ト^一ス^一一^一縣^一交^一斷^一前^一、^一旧^一君^一離^一別^一
 ニ^一異^一ノ^一ル^一故^一言^一ヲ^一待^一ク^一抑^一懷^一不^一肖^一幸^一ニ^一化^一育^一ニ^一ラ^一
 披^一、^一其^一恩^一大^一ニ^一疎^一賤^一ノ^一能^一、^一數^一ハ^一所^一非^一加^一ル^一今^一
 小^一學^一卒^一業^一ス^一ヲ^一以^一テ^一亦^一復^一閣^一下^一ノ^一加^一賞^一ヲ^一受^一ク^一感^一
 激^一矣^一フ^一之^一地^一ニ^一故^一ニ^一閣^一下^一去^一ニ^一於^一テ^一悲^一ノ^一餘^一此^一言^一
 書^一ニ^一テ^一以^一テ^一參^一別^一ニ^一且^一ニ^一思^一願^一、^一賜^一リ^一謝^一ス^一再^一楮^一頭^一首^一
 明治丙子六月八日
 目良富右
 榎田重英

柏木公閣下
 榎田重英
 閣下 目良富右

旧足柄原令柏木忠俊にたいする小田原住民の惜別の辞

静岡県田方郡韮山町 柏木俊孝氏藏



明治15年当時の県庁舎

県庁舎は 横浜裁判所時代から県庁機の変遷とともに何度か移転した。これは明治六年に横浜税関庁舎として建築されたもので、明治十五年の県庁舎焼失を機会に税関から譲り受けたものである。

上 列 車															
車 種	大 船 着	大 船 着	積 須 賀 線				大 船 着	戸 塚 着	磯 ヶ 谷 着	横 濱		大 森 着	品 川 着	新 橋 着	東 京 着
			積 須 着	須 賀 着	賀 線 着	線 着				磯 ヶ 谷 着	横 濱 着				
...	...	4.13					4.15	4.40	4.44	...	5.15	...	5.30
...	5.08	5.16					5.18	5.23	5.44	5.49	5.53	...	6.24	...	6.40
...	...	5.51					5.53	6.15	6.19	...	6.47	...	7.00
5.58	6.13	6.21	5.35	5.51	6.01	6.09	6.11	6.20	6.35	6.40	6.43	7.06	7.14	7.22	7.27
...					6.22	6.31	6.46	6.51	6.54	7.17	7.25	7.33	7.38
...	...	6.34	5.48	6.04			6.36	7.00	7.04	7.58	7.58	...	7.50
...	...	6.58					7.00	7.24	7.28	...	7.56	...	8.10
7.10	7.24	7.32	6.43	7.04	7.14	7.22	7.24	7.33	7.48	7.53	7.56	8.19	8.27	8.35	8.40
...					7.34	7.43	7.58	8.03	8.06	8.29	8.37	...	8.48
...	8.20	8.23	9.00
8.09	8.24	8.32	7.45	8.02	8.12	8.20	8.22	8.31	8.47	8.52	8.55	9.19	9.27	9.35	9.40
...					8.34	8.43	8.58	9.03	9.06	9.29	9.37	9.45	9.50
...	9.16	9.19	10.00
9.19	9.34	9.42	8.46	9.03	9.14	9.22	9.24	9.33	9.48	9.53	9.56	...	10.24	10.32	10.37
...					9.44	9.53	10.08	10.13	10.16	...	10.44	10.52	10.57
...	...	10.16	9.48	10.04	10.14	10.22	10.16	10.25	10.34	10.50	10.55	11.42	11.50	11.58	12.03
0.22	10.37	10.45					10.47	10.56	11.11	11.16	11.19	...	11.50	11.58	12.03
...	...	11.03					11.38	11.47	11.62	11.67	11.70	...	12.02	12.10	12.15
...	...	11.28					11.28	11.37	11.52	11.57	12.00	...	12.22	12.30	12.35

東 海 道 本 線 下 行 (東 京 — 米 原)	先 行 車 名	先 行 号	伊豆	浜	大	伊豆	平	金	沼	金	浜	米	熱	大
			下	松	阪	下	塚	沢	津	沢	松	原	海	飯
	入 庫 時 刻	1006	6701	455	7302	9705	6833	1701	857	705	3161	3141	859	4710
	発 車 番	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	東 新 品 川	1016
	橋 本	1025
	大 塚	1044
	大 塚	1100
	大 塚	1133
	大 塚	1134
	大 塚	1155
	大 塚	1211
	大 塚	1221
	大 塚	1225
	大 塚	1251

上 大正10年 東海道本線時刻表 横浜市港北区 飯田助丸氏蔵(上)
 下 昭和48年

鉄道幹線のスピード化は産業化のバロメーターである
 工業化が飛躍的に発展する第1次大戦後時点と今日の所用時間はどのくらい短縮したであろうか 参考のために
 県下における二つの時点の時刻表をかかげた



関東大震災 横浜棧橋付近の惨状(大正12年 9月 1日)

横浜市旭区 前野栄造氏蔵

